

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 5 2	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Alcohol consumption and the risk of hypertension in women and men. 女性と男性におけるアルコール摂取と高血圧リスク	
執筆者	
Sesso HD, Cook NR, Buring JE, Manson JE, Gaziano JM.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Hypertension. 2008 Apr;51(4):1080-7.	
キーワード	
アルコール、高血圧	
要 旨	
<p>大量のアルコール摂取は高血圧のリスクを増加させるが、軽度～中程度のアルコール摂取と高血圧の発生の関係については意見がわかれている。ベースラインとして高血圧、心疾患、ガン患者を含まない女性健康研究による 28,848 名の女性と医師健康研究による 13,455 名の男性について前向き研究を行った。自己報告による生活様式や臨床危険因子を調べた。10.9 年と 21.8 年のフォローアップの間に 8,680 名の女性と 6,012 名の男性が高血圧になった (抗高血圧治療、最高血圧≥ 140mmHg、最低血圧≥ 90mmHg)。年齢と生活様式で補正を行うと、女性ではアルコール摂取と高血圧に J 型の相関が見られた。ボディマス指数、糖尿病や高コレステロールといった要素は軽度～中程度のアルコール摂取の効用を減少させ、大量のアルコール摂取の様々な影響を強めた。また、ビール、赤ワイン、白ワイン、蒸留酒において、合計アルコール摂取量に対する高血圧の相対リスクには違いが見られなかった。男性では、アルコール摂取は顕著に高血圧と正の相関が見られ、多変量で修正後も結果は同じであった。以上より、軽度～中程度のアルコール摂取は女性では高血圧リスクを減少させたが、男性ではリスクを増加させることがわかった。</p>	